合併に関する手紙

市長への手紙 Q

蒲郡の合併については、岡崎、幸田、額田の1市2町との合併が最良だと思います。岡崎、幸田、額田にとっては、海は魅力だと思います。一刻も早く、1市2町に働きかけ、合併協議会をつくってください。

市長からの返事 A

市町村合併の東三河の動きとしまして、この8月20日に田原町と赤羽根町が合併して「田原市」が誕生し、また、「豊川市と宝飯郡4町」、「新城市と南設楽郡1町1村」、「北設楽郡2町3村」で、それぞれ協議会が設置されています。構想として、豊橋市を中心とする、政令指定都市「東三河市」構想が新聞で報道されています。西三河では「西尾・幡豆郡3町」、「豊田加茂8市町村」、「岡崎市と額田郡2町」で、研究会が設置されています。

市では、平成13年10月に合併に関する市民意識調査を実施しました。この市民意識調査の結果では、幸田町、御津町、音羽町、豊川市との合併が、それぞれ10％台で、続いて小坂井町、岡崎市が9％台でありました。私自身は、合併するなら東三河の一員として、合併メリットの大きい、政令指定都市レベルの「東三河市」が実現されたらと考えています。

合併につきましては、市長への手紙でも、合併すべしという手紙と合併するなという手紙が届いています。いずれにしましても、合併は、市が一方的に推し進めるものではなく、市民の皆さんの盛り上がりが必要であると考えています。市民の皆さんの意向が固まってきましたら、その意向の実現のために努力してまいります。

乳幼児医療に関する手紙

市長への手紙 Q

子どもを持つ母親にとって、大きな問題があります。育児にもお金がかかり、子どもが病気にかかると、大人より医療費がかかります。もし、できれば7歳までの医療費を無料にしてください。

市長からの返事 A

蒲郡市では子どもの医療費助成として、通院については平成14年4月1日から4歳未満児まで、入院については今年の4月1日から6歳未満児までの医療費について全額助成しています。県内31市の状況をみますと、通院については4歳未満児が20市、5歳未満児が8市、6歳未満児が1市、未就学児までが2市となっています。また、入院については未就学児までと6歳未満児までがそれぞれ13市、5歳未満児が4市、4歳未満児までが1市となっています。

仮に7歳まで（未就学児まで）医療費を無料にするためには、毎年約6千万円必要になってきます。少子化対策また子育て支援として、子供の医療費問題が重要な課題であるということは充分認識しておりますが、厳しい財政状況の中で、この財源を見つけ出すことは、極めて難しい状況でありますが、拡大できるよう努力を続けてまいりますので、ご理解をいただきたいと思います。

市長への手紙データ

第5回市長への手紙は、若い方から年配の方まで、幅広い層からお手紙をいただきました。傾向としては、女性では小さなお子さんを持つお母さんから、そして、男性では60歳以上の方からの手紙が多くみられました。

男性57人　女性70人　無記名29人
合計156人

手紙の内容をわけると次のようになります。

区　分	件数	区　分	件数
環境・美化	37	保健・医療	10
道路・歩道	37	教育・文化	6
まちづくり	31	海・港湾	6
公共施設	28	情報化・行政	4
市職員・議員	21	まちなみ・景観	2
福祉・保育	18	産業振興	2
交通・防犯・災害	17	その他	9
観光・競艇	17	合　計	245

※1通につき、複数の内容があるため、手紙の総数と一致しません。